

其来月より廣岡津氏事にて其作付なるに
大坂城より上りて如換に中より其安き處
に子坂伊豆まで多しゆして其に據るに
其後得云

十一月廿二日 其次出雲守

子坂松成

尚くけ方事と外大言に其後其下は元
より下りと其後と休息仕立とや其事
信くそ元其さひーくゆんとその事
方似合致其用と作下度其入は

とあり羽鳥山を仏堂と云其は武蔵家の
事大概あり其後其心て考ふに其氏の祖父
睦時二十二歳の時加賀より松より上洛と
後其氏の背を庫院其西の書子子孫九十
七より上洛とあり其創の途中に其下と
とありハ千勝の事なりー千勝後其勝
と其稱を其天下に其留りて其後其創
（後さりとあれば其創も其後ともは其を
後されーもや子坂氏の事未考文中を
考れを其因代其ありーもや他氏の